はじめに

平成 16 年 11 月１日、上野市、伊賀町、島ヶ原村、阿山町、大山田村、青山町が合併し、約 10 万人の人口を有する「伊賀市」が誕生しました。

伊賀市誕生に至りました経緯につきましては、平成 2 年に策定された「伊賀創生計画（伊賀北斗プラン）」の基本理念である「伊賀は一つ」に始まり、平成 10 年の「伊賀市を考える議員の会」の発足、平成 13 年 2 月の「伊賀地区市町村合併問題協議会」の設置、その後任意協議会への名張市の加入・離脱がありましたが、6 市町村が平成 15 年 4 月に法定の協議会である「伊賀地区市町村合併協議会」を設置し、新市の名称、各種事務事業の調整、「新市建設計画」の策定、伊賀市自治基本条例の検討など 3 年 9 ヶ月に及ぶ協議を積み重ね、合併を迎えることができたところです。

しかしながら、今日、社会は国、地方とも大きく揺れ動き、国内情勢は景気回復の予兆が感じられるとはいえ、まだまだ厳しい状況であり、地方を取り巻く三位一体改革など、益々厳しい時代を迎えています。このような中、地方分権が進められ、市町村も自己決定、自己責任のもとに、その行財政基盤を強化することが求められています。

「伊賀市」の「新市建設計画（伊賀市まちづくりプラン）」には、新市の基本理念として、市民や地域が主体となった自治が行われ、新市が一体となって共生・連携することにより、自立した新市の創造を目指すとしています。

今後とも、市民の方々が合併に託した、新市の将来像である「ひとが輝く　地域が輝く、～住みよさが実感できる自立と共生のまち～」を目指して、これまでの合併協議の成果を踏まえ、新市の将来像の実現に向けて取り組む所存であります。皆様方の更なるご支援とご協力をお願い申し上げます。

本書は、「伊賀市」の船出として、合併に至るまでの背景や経緯をとりまとめたものです。何かの参考になれば幸甚に存じます。

最後に、この度の合併に際し、多大なご支援、ご協力を賜りました市民の皆様方をはじめ、国、県当局並びに関係各位の皆様、国・県・市議会議員、合併協議会の委員の皆様に、心から感謝申し上げまして巻頭のご挨拶とさせていただきます。

平成１７年１月

伊賀市長　今　岡　睦　之